

一緒にぎょうざを作りながら
楽しく日中の交流・理解を深める

2月6日、二本木地区コミュニティセンターで、よこし国際交流協会の主催により「ぎょうざ作り&中国人留学生との交流会」が開催され、黒龍江省・吉林省・陝西省からの留学生・研修生7名と、町内の小学生から大人まで約30名が参加しました。

参加者は、ひき肉やエビ、ねぎ、白菜などの分量や混ぜ方、小麦粉のこね方、皮ののばし方などを留学生たちから教わりながら、お互いの生活習慣や文化の違いなどについて会話が弾みました。その後、ゆで上がったばかりの水ぎょうざを食べたり、中国語を使った伝言ゲームをしたり、自分の名前の中国語の発音などを学んで楽しく交流。留学生から「一緒にぎょうざを作り、話をして楽しかった。皆さん親切で、心から感謝します」という感想が聞かれました。

その後、留学生たちは北方文化博物館を訪れ、雪が残る庭園や大広間、古美術品などを丹念に鑑賞し、日本文化に大きな関心を寄せていました。



もちもちした食感が特徴の手作りぎょうざ

みんなで協力しながらぎょうざ作り

修験道場として名高い沢海・大榮寺で
恒例の節分・豆まき行われる

2月3日、沢海の大榮寺において、恒例の節分・豆まきが行われ、雪が残り、凍てつく寒さにもかかわらず、子どもからお年寄りまで多くの人たちが集まりました。

大榮寺は寛永8年(1631年)に開かれた曹洞宗の修験道場で、現在9人の僧侶が修行に励んでいます。住み込みの僧侶たちは、毎月1日と15日、28日に地域の家庭をまわって托鉢の行を積んでいるほか、1月10日から2月3日までの毎日、どんなに吹雪や寒さの厳しい時でも寒行托鉢を行い、修行を積んでいます。

この寒行の最終日である節分の日の夕方、線香の香りが立ち込める本堂で、僧侶たちは厳かに儀式を開始。鐘と太鼓の音が鳴り響く中で、経典を素早くめくっていく転読を行い、皆さんの家内安全・無病息災・交通安全などを祈りました。

その後、豆が次々と勢いよくまかれると、集まった人たちは歓声をあげながら拾い集め、節分行事を楽しみました。



大切な文化財を火災から守れ！
北方文化博物館で防火訓練

1月26日、豪農の館として知られる北方文化博物館で、博物館職員など約60名が参加して防火訓練が行なわれました。この訓練は、貴重な文化財を所蔵し、国の登録有形文化財にもなっている同館の保護を目的に、1月26日の文化財防火デーに合わせて毎年実施されています。

訓練では、館内の食堂「みぞ蔵」から出火したと想定し、職員が火災報知器を鳴らし、119番へ通報。すぐに見学客の避難誘導と、消火ホースを使った博物館職員による初期消火訓練を実施しました。また、地元消防団、消防署員、救助隊も加わり、古井戸の防火用水を利用した放水訓練、消防梯子車などを使った放水訓練、けが人の捜索・救出活動も行いました。

その後、火災発生時にあわてずきちんと初期消火ができるよう、博物館職員の皆さんは署員の指導を受けながら消火器の扱い方を何度も練習したほか、館内の消火器などの点検も行い、万一の火災に備えました。

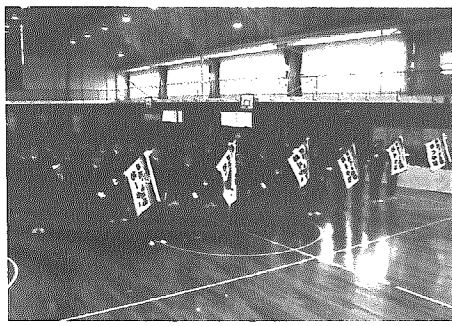


地域を守り続けた
横越町消防団
解団式



2月20日、横越小学校体育館で、横越町消防団解団式が開催されました。

横越町消防団は、明治40年に組織された「消防組」がはじまりで、警防団を経て、昭和23年「横越町消防団」として発足。現在、6分団合わせて210名が消防団員として火災・水害に備えて日々訓練に励んでいます。



解団式には、消防団員、町議会議員や新潟南警察署長、亀田町消防団長、各地区代表区長などの来賓が出席。はじめに浅見町長から「自治体も消防団も歴史的合併により、新しい時代を迎えることとなります。自治体消防に対する期待は大変大きい。健康に留意し、住民の生命・財産を守り続けてください」、田村町長から「消防団はこれまで自然災害や火災などから郷土を守ってきました。今後とも地域の人命・財産を守ってほしい」とあいさつ。町長、団長、来賓などによって全団員を閲団した後、団旗が団長から町長へ手渡されました。最後に団長が解団を宣言。横越町消防団としての歴史に幕が下ろされました。

なお、今後は新潟市消防団に所属し、これまで同様、地域の安全・安心な生活のために活動を行っていきます。

“横越産”にこだわった旬の食材ずらり
よんぱくの味を楽しむ集い!

2月20日、JA亀田郷みなみ女性部と阿賀の里づくりよんぱの主催により「よんぱの味を楽しむ集い」が農村環境改善センターで開催されました。

このイベントは、豊富な横越産のおいしい食材を楽しんでもらおうと、毎年開催されています。

町内外から46名が参加。よんぱの自慢なべ、ごぼうのから揚げ、手作りソーセージ、キャベツロール、長いものようかんなど、地元産の食材にこだわった9品がテーブルいっぱい並びました。参加者たちは、生産者から横越の農畜産物の特徴や料理の作り方などについての説明、三遊亭慎楽さんの落語を聞きながら、横越の味を



にいがた冬の陣
合併13市町村の伝統芸能・特産品が勢ぞろい

2月5日・6日、新潟市内4会場で行われた「にいがた冬の陣」が開催され、多くの人たちで賑わいました。

この催しは、冬の新潟のおいしい味覚を楽しもうと、毎年この時期に開催されている人気のイベントです。この開催日両日、古町

会場の古町モールでは、横越町・新潟市など3月21日に合併する13市町村の伝統芸能や市町村PRが披露され、6日には、午前と午後の2回、当町から東町神楽保存会などのメンバー20名が参加し、公演を行いました。

笛や太鼓に合わせて、4人で剣や鈴などを持って華麗に舞う剣舞に続き、神楽と天狗が登場。観客たちは躍動感いっぱいの舞を楽しんでいました。



横越産にこだわった料理の数々

また、食の陣が行われた古町モール内には、合併13市町村のコーナーが設けられ、横越町特産の長いもを使用した「とろろまんじゅう」など、各市町村の特産品などが所狭しと並び、多くの人たちが買い求めていました。

